

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年2月22日	
		作成部署	企業局建設整備室	
事業名	宇治浄水場導水施設更新事業	構想番号	(企業・建)構-17-2	
概算事業費	約34億円	地区名	宇治市	
		事業期間	H13:導水管総点検 H14事業着手~H20完成予定	
事業概要	導水管埋設工事 全長 約2.5km (開削等区間) 延長 約1.2km (トンネル区間) 延長 約1.3km 導水ポンプ所築造一式 導水ポンプ設備工事 一式			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO <sub>2</sub> 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・宇治川に絶滅危惧種であるナカセコカワニナが生息しており、その保全が必要である。 ・ポンプ供用によりCO <sub>2</sub> が発生する。	・宇治川付近の掘削の際には、早期埋戻しを実施する等、濁水発生の要因となる工事影響を極力抑える。 ・水道施設を活用した水位差発電の省エネルギーシステムの導入により、自らCO <sub>2</sub> 排出量削減を果たす。	
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・工事等に伴い掘削土砂の発生が見込まれるため、有効利用が必要である。 ・工事により騒音が発生する。	・掘削土砂については、工事間利用など有効利用を図る。 ・防音ハウスを設置する等、周辺への騒音の影響を極力抑える。	
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・計画ルート周辺は世界遺産である平等院等、歴史的建造物や宇治川等、自然環境に恵まれており景観に対する配慮が必要である。	・埋設管工事が主であるが、地上構造物については周辺景観との調和に配慮。	
地域の環境像	周辺地域は、世界遺産である平等院を含む歴史的建造物や宇治川を中心とした自然景観に恵まれた地域であり、地域の景観にマッチした整備を行うとともに地域企業を含めた府民に対して、CO <sub>2</sub> 排出量削減などによる環境保全活動の先導的立場を目指す。			
特記事項	宇治浄水場は環境ISO(14001)の認証を取得しており、環境保全と資源の効率的利用に向けた取組を積極的に展開する。			